

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立平岸高台小学校 第3学年 38名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	オリンピック・パラリンピックの理念や歴史について理解を深めることができるようにする。
5 取組内容	○指導計画【5時間扱い】 ・「総合的な学習の時間」 5時間 ・事前学習として、オリンピックやオリンピックミュージアムについて簡潔に学んだ。 ・札幌オリンピックミュージアムに行き、リレハンメルオリンピック銅メダリストの山本宏美さんの講話を聞いた。 ・展示品や様々なウィンタースポーツのシミュレーションゲームも楽しみ、オリンピックの歴史や精神も学ぶことができた。



	・全員でリフトに乗って大倉山展望台へ上った。ジャンプ選手が驚異的な傾斜の坂で競技をすることを想像できた。 ・札幌の素晴らしい景色も堪能した。未来の北国を担う「札幌人」として有意義な時間を過ごした。
6 主な成果	・子どもはオリンピックやパラリンピックは何のために行われるのか、選手としての苦労などを知り、理解していた。特に、「世界平和に貢献している」というところに、大会の意義を強く感じていた。 ・どの学校も参画できるものではない、大変貴重な校外学習を経験できた。
7 実践において工夫した点	・オリンピックミュージアムの展示を自分の目で確かめることで歴史に触れ、シミュレーター体験の時間を確保して擬体験から学ぶ経験を大切にした。
8 主な課題等	1年を通しての見通しや、保護者への啓発が不足していた。
9 今後の取組について	いよいよ2020年のオリンピックイヤーを次の年に迎える。オリンピックの話題に触れた学習活動をこれまで体験学習をすることができた現5・3年生だけでなく、あらゆる機会において全校で取り組んでいくことができるようにしたい。